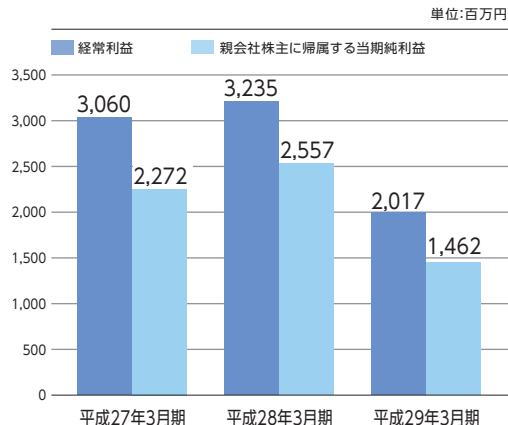




経常利益・当期純利益(連結)

～マイナス金利の影響大～

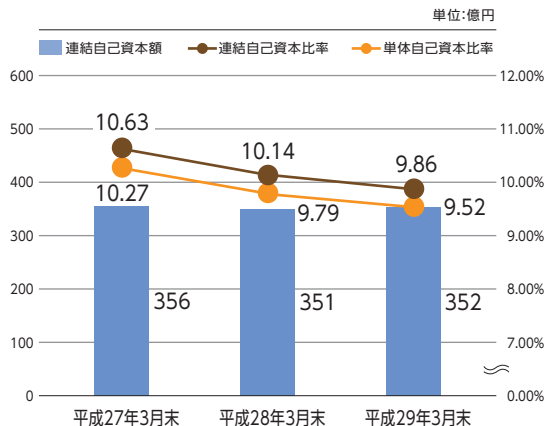
- ・連結経常収益は、マイナス金利の影響などによる貸出金利息の減少や預り資産販売減少等による役務取引等収益の減少、さらに貸倒引当金戻入益の減少等によるその他経常収益の減少などにより139億48百万円（前期比8億52百万円減少）となりました。
- ・連結経常費用は、新勘定系システムの稼働に伴う営業経費の増加などにより、119億31百万円（前期比3億64百万円増加）となりました。
- ・これらの結果、連結経常利益は20億17百万円（前期比12億17百万円減少）、親会社株主に帰属する当期純利益は14億62百万円（前期比10億94百万円減少）となりました。



自己資本比率

～高い健全性を維持～

貸出金の増加に伴いリスク・アセットが増加したことから、自己資本比率（国内基準）は連結9.86%（平成28年3月末比△0.28%）、単体9.52%（同△0.27%）となりましたが、国内基準4%を大きく上回る水準であり、高い健全性を維持しております。



開示債権比率(単体)

～第三次経営計画目標をクリア～

金融再生法による開示債権比率（単体）は、お取引先さまの経営支援に引き続き積極的に取り組んだことなどから、平成28年3月末比0.27ポイント低下して2.54%となり、第三次経営計画（平成29年3月末）目標（3.2%以下）を大幅にクリアしております。

